

開催日	催し物名・観覧時間	入場方法	主催者(お問合せ先)
10月 9/29(火) ～4(日)	マック展 第2展示室 観覧時間:11:00～17:00(初日は13:00から、最終日は16:00まで)	無 料	マック(MAC)三鷹アートサークル 090(3530)9336 佐久間
9/30(水) ～12 (月祝)	神沢利子『こぶたのプウタ』原画展 第1展示室 観覧時間:10:00～18:00(最終日は16:00まで)	無 料	三鷹市教育委員会(三鷹市立図書館) 0422(43)9151 前田・池上
6(火)～ 11(日)	墨海展 第2展示室 観覧時間:11:00～17:00(初日は14:00から、最終日は15:00まで)	無 料	墨海会 m.grande@docomo.ne.jp 吉田
27(火)～ 11/1(日)	第73回三鷹市市民文化祭 美術展 第1・2展示室 観覧時間:10:00～17:00(最終日は16:00まで)	無 料	三鷹市・市教育委員会・市芸術文化協会 三鷹市美術連盟 0422(45)5568 岡本
10(火)～ 15(日)	第73回三鷹市市民文化祭 書道展 第1・2展示室 観覧時間:10:00～17:00(最終日は16:30まで)	無 料	三鷹市・市教育委員会・市芸術文化協会 三鷹市新書道連盟 090(7175)5824 野木
18(水)～ 23(月祝)	アール・ブリュットみたか2026 会場① 第1・2展示室 観覧時間:10:30～18:30(初日は13:00から、最終日は16:00まで)	無 料	三鷹市・(公財)三鷹市スポーツと文化財団 アール・ブリュットみたか連携協議会事務局 三鷹市芸術文化センター 0422(47)9100

- ↑ この催し物案内は、2026年9月11日にとりまとめたものです。 ・ 帯は財団主催事業です。
- ・ 内容、期間、時間、入場方法等は変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・ 各催し物の詳細については、主催者までお問い合わせください。

三鷹市美術ギャラリー内 太宰治展示室 三鷹の此の小さな家

【前期】2026年10月12日(月・祝)まで開催

【後期】10月18日(日)～2027年1月17日(日)

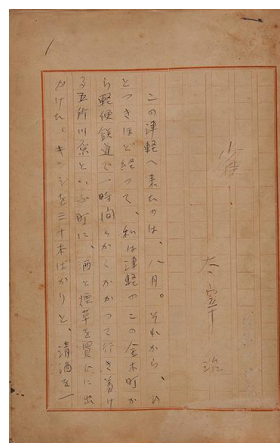
※前期・後期で展示替えあり

企画展示 太宰治の疎開時代

太平洋戦争末期の昭和20年(1945)4月、三鷹下連雀の自宅で空襲に遭った太宰治は、妻・美知子の郷里である山梨県甲府に疎開します。しかし、7月には甲府も空襲の被害を受けたため、太宰は青森県金木の生家・津島家に再疎開することになります。8月15日の終戦を迎えてもすぐには三鷹に戻らず、翌年11月まで津島家の離れで過ごしました。

太宰は、この約1年7か月にわたる疎開中に「パンドラの匣」、「トカトントン」などの秀作を次々に生み出しただけでなく、2つの戯曲「冬の花火」、「春の枯葉」にも挑戦するなど、厳しい状況のなかでも創作意欲を失うことはありませんでした。令和6年(2024)に三鷹市が購入した直筆原稿「雀」も、同時期に脱稿、発表されたものです。

今回の企画展示では、「雀」を中心とした太宰の疎開時代の作品に焦点を当て、帰京後「斜陽」によって一躍時代の寵児となるまでの過程を、前後期に分けて紹介します。



太宰治直筆原稿「雀」
昭和21年／三鷹市蔵



観覧時間：午前10時～午後6時

10・11月の休館日：月曜日(10/12、11/23は開館)、10/13(火)～10/17(土)
11/24(火)、11/25(水)

協力：太宰治疎開の家＜旧津島家新座敷＞、太宰治「思ひ出」の蔵

会場：太宰治展示室(三鷹市美術ギャラリー 三鷹市下連雀3-35-1 CORAL5階)
展示についての問合せ先 TEL0422-26-9150(太宰治文学サロン)